

令和8年度 小野地区地域資源発掘・活性化実証業務委託 公募型プロポーザル審査基準

企画提案書、見積書等の内容を総合的に評価し、最も優れた提案者（以下「最優秀者」という。）の選考を行う。

1 審査について

(1) 資格審査

実施要領に示す参加資格の要件等を満たしていることを確認する。

企画提案書に必須記載項目が記載されているか確認する。

※上記を満たしていない場合は失格とする。

(2) プレゼンテーション審査

企画提案書等審査は、各委員の合計点数を平均し、点数の大きい順番で順位をつける。
なお、最高得点が複数ある場合は、ランクA（B）の項目が多い者を最優秀者として選考する。

ただし、合計点数の平均が120点に満たない場合、最優秀者として選考しない。

また、ランクFの項目が1つ以上ある場合は、合計点数の平均が高くとも、選考しない場合がある。

2 採点方法

審査項目の(1)~(5)について、審査基準ごとにランク付けを行い、配点に対する係数を乗じて採点する。

ランク	審査区分	係数
A	特に優れた提案となっている/特に優れている	1.00
B	AとCの間	0.80
C	一定の優れた提案となっている/優れている	0.60
D	CとEの間	0.40
E	仕様書の内容は満たしているが、優れている点が認められない	0.20
F	仕様書の内容を満たしていない/提案がなされていない	0.00

3 審査項目等

審査項目	審査基準	配点
(1)業務の基本方針	業務目的を的確に理解し、小野地区の特性に即した独自の視点や熱意ある提案がなされているか。	10点
(2)分析手法と論理的な一貫性（仕組み）	5行政区の資源調査から、住民・事業者のインサイト（本音）を抽出する手法は具体的か。また、分析結果を活性化戦略へ論理的に結びつける「仕組み」が構築されているか。	40点
(3)活性化戦略の妥当性	活性化戦略の内容は、地域の課題解決に資するものか。地域住民や事業者が主役となる参加の在り方等について、現実的なロードマップとなっているか。	40点
(4)実証事業の実行力と検証性	延べ500人以上が携わる実証事業の設計は、活性化戦略の有効性を正しく検証できるものか。地域住民や事業者との合意や連携手法に具体性と妥当性があるか。	40点
(5)地域資源の創造的活用	天然温泉や史跡、伝統文化などの既存資源を、単なる紹介に留めず、現代的な価値（体験、ワークスタイル等）として活用する工夫が見られるか。	30点
(6)実施スケジュール	実施スケジュール、進捗管理は適切か。	10点
(7)実施体制	専門性の高い人員配置や、住民・関係団体と円滑に合意形成を図る体制が整っているか。	10点
(8)業務実績	過去5年間に、他自治体等において本業務と類似する地域活性化・調査実証等の実績を有しているか。（最大5件） 1件あたり2点。	10点
(9)価格評価	(全参加者の最低価格／当該参加者の提案価格)×配点	10点
合 計		200点